

3. ケンカの意味



これまで見てきたように、子どもたちのケンカ体験は、昔と比べかなりの程度減ってきている。表1で見てきたように、友だちにいじめられたり、なぐられたり、仲間はずれにされたり、裏切られたりと、今日でも子どもたちをカッとさせる場面はあるのである。しかし子どもたちは、今ひとつ燃えない。多分その結果を考えてしまうと、今ひとつその気にならない、というところだろう。しかしケンカは、子どもの成長や発達の途上で、もはや必要のなくなってしまったものなのだろうか。

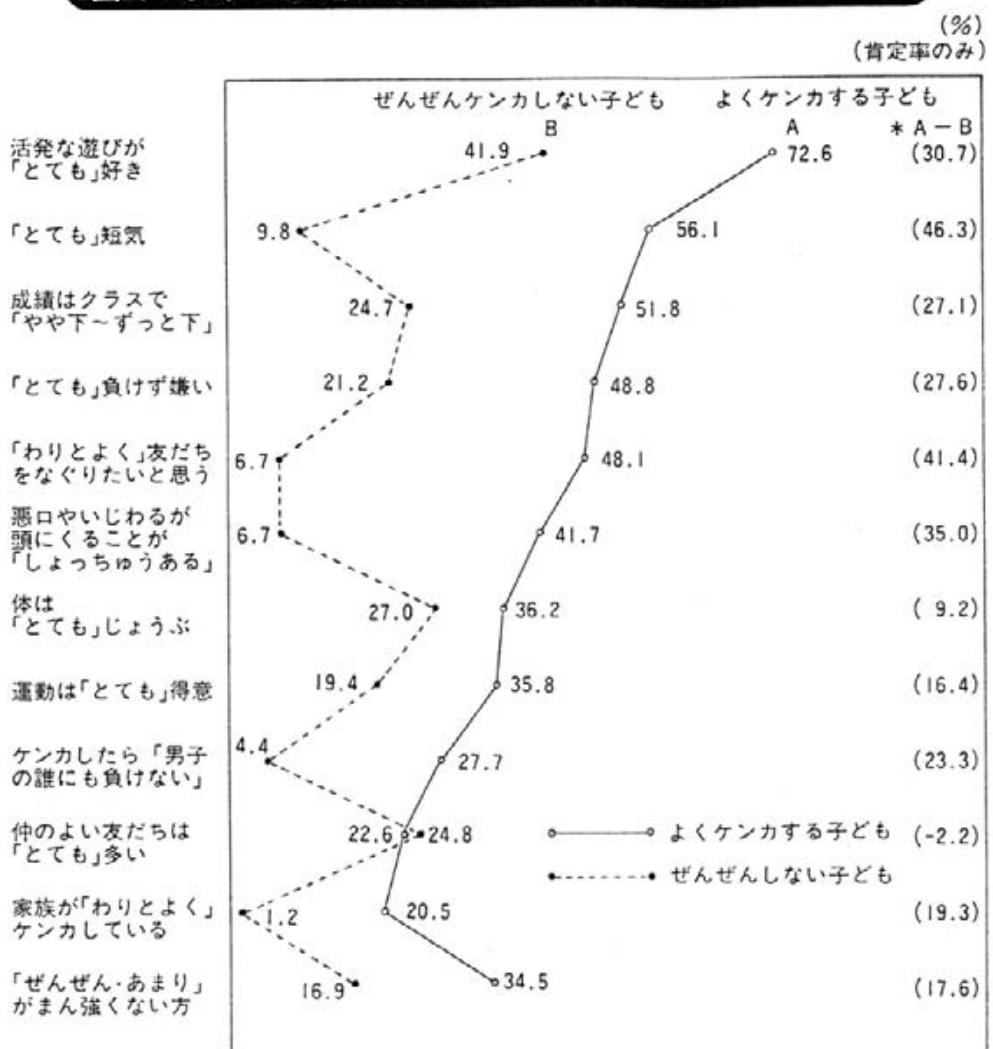
ここでは、ケンカをせんせんしない子どもとよくする子どもを拾い出して、子どもにとってのケンカの意味を探ってみたい。

● ケンカする子どものプロフィール

まず、図20は、第1章で取り上げたケンカの自己評価をもとによくケンカする子どもとぜんぜんしない子のプロフィールを12の項目について比較したものである。それぞれの項目について「とてもそう」と強く肯定した割合を示してある。ほとんどの項目で、よくケンカする子どもの肯定率の方が高い。つまり「活発な遊びがとても好き」73%をはじめ、「と

ても負けず嫌い」で「ケンカをしたら誰にも負けない自信があり」「体もじょうぶ」「運動も得意」と元気はつらつで子どもらしいイメージが浮かぶ。よくケンカする子どもの印象は、エネルギーで決して悪くはない。ただしケンカする子どもとしない子どものプロフィールの距離の大きい項目を見ていくと、「とても短気」「わりとよく友だちをなぐりたいと

図20・よくケンカする子どもとしない子どものプロフィール

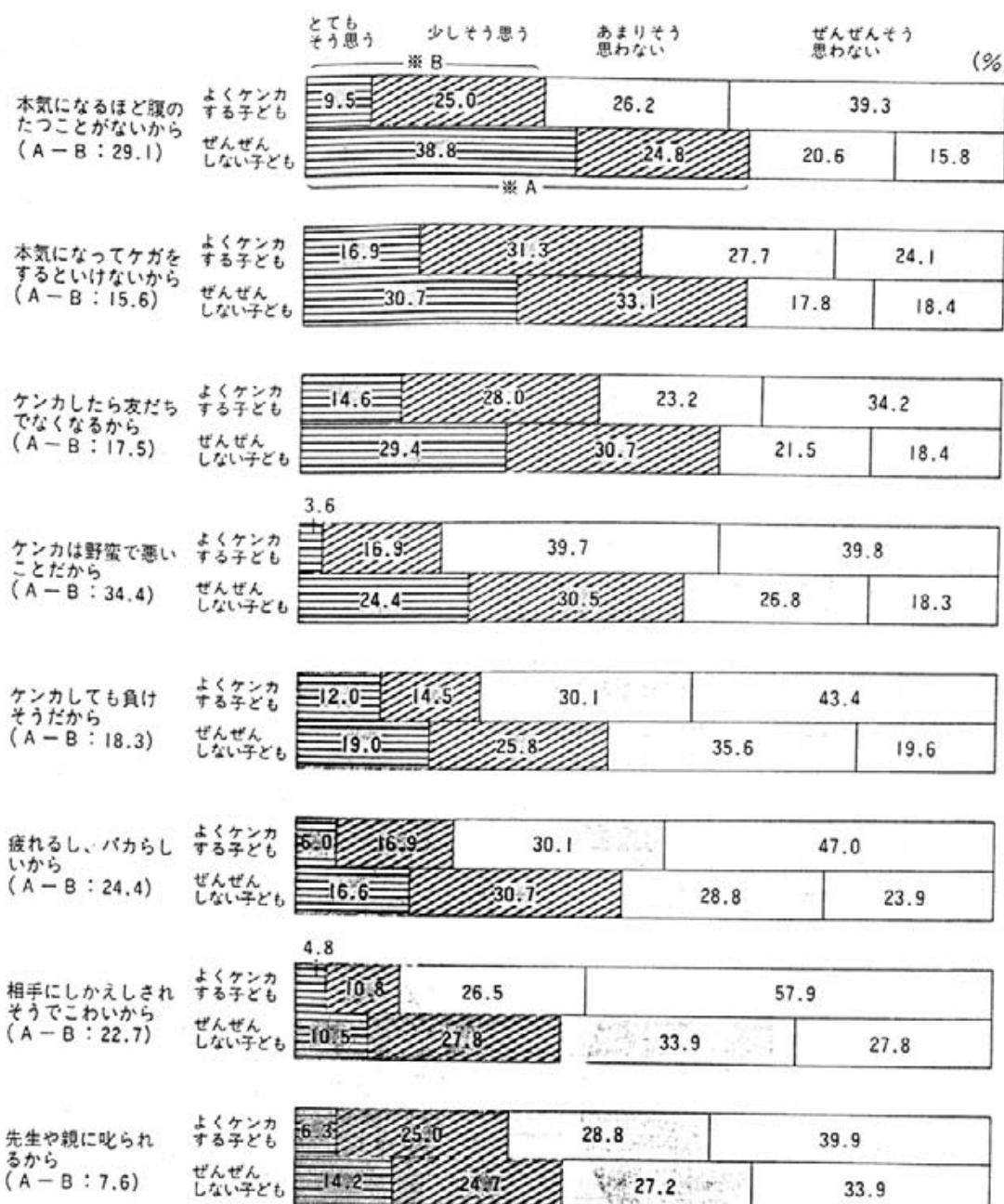


思う」「いじわるされて頭にくることがしおちゅうある」という具合で爆発しやすいタイプが推測される。つまり明るく元気で子ど

もらしいが、少々自己抑制力が不足している、といったところなのだろう。

同様な点を見ようとしたのが、図21である。

図21・ケンカをがまんする理由(よくケンカする子どもとしない子どもの比較)



同じように、ケンカをよくする子どもと、めったにしない子どものケンカをがまんする理由を並べて見たものである。すなわちぜんぜんケンカをしない子どもの方は、「本気で腹のたつことがないから」が64%と、もともと燃えないタイプで、ケンカは「疲れるし、バカラしい」と開き直っている子どもも約半数近くいる。それほどカッカとすることもなく、

友だちにケガをさせるといけないし、関係がますくなるのも困るから、ケンカしないのであろう。どうもヘンにおとなびた気分のなさを感じさせる結果である。小学校4、5、6年という発達段階を考えた時、もう少し子どもっぽく、超自我の発達が不十分で、エネルギーでもいいのではないかと思ってしまう。

ケンカが起こった時

ではこうしたケンカが、いったん子どもたちの間で起こってしまった時、子どもたちの反応はどうなのか。

まず図22は、「クラスで乱暴な子どもどうしがケンカを始めたら」という設定で、周囲の友だちはどうすると思うか、尋ねてみたものである。これには子どもたちの、ふだんの体験が反映されるだろう。

図が示すように、まずもっとも多い行動の仕方は「すぐ先生に言いに行く」で51%。4年生以上になって「先生に言う」でもなさそうなものだが、「乱暴な子どもどうし」という設定なので、到底かなわないと判断されたと考えれば仕方のないことだろう。中でも「弱い子

の味方になってやっつけようとする」はわずか6%である。

残りは完全な傍観者で、「おもしろがって集まって見てているだけ」29%、「勝手にやらせておく」15%。「乱暴な子」と言ってもクラスメートなのだから、それはないのでは、とも思うが、まあこの辺が現代風なあり方とも言うのであろう。

では、一方が自分の仲よしの友人だったらどうなるか。もっと積極的な介入が期待できるのではないだろうか。つまり身うちが、他から不当な暴力を受けている時の態度を見ようとしたのが、図23である。

さすがに止めに入ろうとする者が46%と多

図22・乱暴な子どもどうしのケンカに対して友だちは

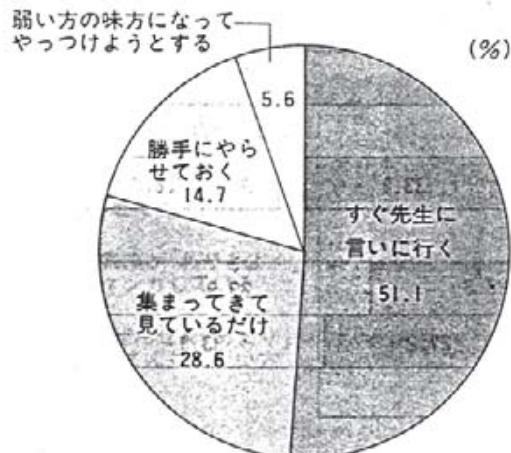
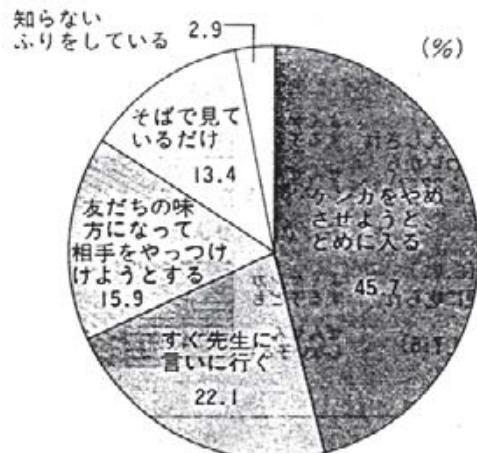


図23・仲よしの子どもが乱暴な子どもとケンカを始めたら



いが、しかし子ども本来の反応としたら「友だちの味方になって、相手をやっつけようとする」が自然なのではないだろうか。「止めに入る」のではなく「友人に味方する」のである。しかしこの「味方する」子どもはわずかに16%でしかない。なんとも気落ちさせられる子どもたちの態度である。

気落ちの材料はまだ他にたくさんある。自

分がかかわろうとせず、「すぐ先生に言いに行く」22%。巻末の集計表によると、男子が17%女子が28%で、女子に多いものの、男子にだってけっこうこのタイプがいるのである。さらに「そばで見ているだけ」が13%、「知らないふり」3%の数字は、一体どうなっているのだろう。くり返しになるが、やられているのは自分の仲よしなのである。

ケンカの周辺

子どもたちがケンカするには、それなりの理由があるのであらうし、しないのにもまた、それなりの理由があるのであらう。しかしもともと子どもは、発達段階の上では未成熟で社会化されておらず、感情の抑制の仕方も十分

にはできない生き物のはずなのである。なのにこれまで見てきたデータからは、そうした子どもらしい生き生きした感じが欠け、なにか抑制されすぎた、または少ししきけた感じの子どもたちのイメージがあるようと思われ

図24・家族の間での大ケンカ

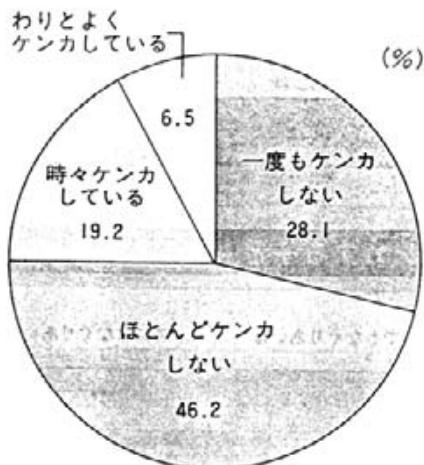


図25・父母と他人のケンカ

	わざとよく ケンカしている	時々ケンカ している	一度もない	わからない	(%)
父 親	5.6	56.4	36.7		
母 親	5.5	63.7	30.4		

る。

その周辺を探ってみよう。子どもの周囲にケンカの環境またはこれを抑制する環境があるのだろうか。

まず図24は、子どもたちの家族の雰囲気である。「大ケンカ」することがあるか、の問い合わせ、全体の4分の3の子どもは、家族の中での大ケンカは、これまでぜんぜんなかったか、またはほとんどなかった、と答えていている。

むろん中には7%だが、わりとよく大ケンカしている家族もあり、時々している家族も19%ほどはある。しかし全体としての家族は

平和な様子が見てとれる。

次に図25は、「両親は外で友人とケンカすることがあると思うか」を尋ねた結果である。図が示すように、「わりと」も含めて、1度でもケンカしたことがあると思っている子どもは、非常に少ない。父親で7%、母親で6%でしかない。むろん「わからない」と答えている者が非常に多くはなっているものの、子どもたちのこの認識は現実と大きな差を示しているのではないだろうか。特に父親は職業人であり、子どもたちの無邪気なケンカとは動機も意味もパターンも違うものの、やはり

図26・なぐりあいのケンカについての親や先生の考え方(子どもの推測)

① 父 親	どんな場合でも なぐりあいは絶対にいけない			時にはなぐりあいも すぐケンカするのも仕方がない (%)
	全 体	40.2	42.8	
② 母 親	全 体	57.0	34.1	8.9
③ 先 生	全 体	58.2	31.7	10.1

図27・よくケンカする子どもとしない子どもの親の許容度

① 父 親	どんな場合でもなぐりあいは 絶対にいけない			時にはなぐりあいも すぐケンカするのも仕方がない (%)
	よくケンカ する子ども	41.7	21.4	
② 母 親	よくケンカ する子ども	46.2	43.8	10.0
③ 先 生	よくケンカ する子ども	42.9	33.3	23.8
	ぜんぜん しない子ども	62.3	28.9	8.8

① 父 親	どんな場合でもなぐりあいは 絶対にいけない			時にはなぐりあいも すぐケンカするのも仕方がない (%)
	よくケンカ する子ども	41.7	21.4	
② 母 親	よくケンカ する子ども	46.2	43.8	10.0
③ 先 生	よくケンカ する子ども	42.9	33.3	23.8
	ぜんぜん しない子ども	62.3	28.9	8.8

① 父 親	どんな場合でもなぐりあいは 絶対にいけない			時にはなぐりあいも すぐケンカするのも仕方がない (%)
	よくケンカ する子ども	41.7	21.4	
② 母 親	よくケンカ する子ども	46.2	43.8	10.0
③ 先 生	よくケンカ する子ども	42.9	33.3	23.8
	ぜんぜん しない子ども	62.3	28.9	8.8

人生にはケンカがつきものである。そうした親たちの体験を伝える努力を欠いていないだろうか。ケンカは、うまく建設的にすることが必要なのであって、抑制ばかりがよいのではないことを。

ではこうしたケンカについて、特に「なぐりあい」という形について、親たちは子どもたちにどう教えているのだろう。図26によれば、「どんな場合でもいけない」と教えているのは父親4割、母親と先生が6割となっている。「子どもだから仕方がない」というのは甘すぎるだろうが、「時にはやむをえないこともある」ぐらいの教え方をしてはいけないだろうか。もちろん性差があって、巻末の集計表によれば、「絶対にいけない」は、父親の場合男子で32%女子で49%、母親の場合は49%と65%、先生の場合57%と59%と先生を除いては、いずれも男子の方に許容度が高くなっているが。

また、さきに見たような、よくケンカする子どもとしない子どもの親たちは、ケンカの許容度の違いがあるらしいことも、図27から明らかである。先生はすべての子どもに一律のようだが、父親も母親も、ケンカする子どもの親の方が、なぐりあいに甘くなっている。

もうひとつ、おそらくこうしたケンカを許容する態度には、地域差もありそうである。図28で見い出されるように、団地のA校と漁村のD校をとって見ると、「どんな場合でもいけない」はほぼ一定だが、「子どもだから仕方がない」とする親たちは、いずれも漁村の方に多い。先生もそうである。つまりケンカに対する許容度の差がおとなとの間にあり、それが子どもたちの行動の上に反映してくるのだろう。そのひとつの証拠は、図29で、生まれてから今までのケンカの量は、いずれも漁村が多くなっている。

図28・なぐりあいのケンカについての許容度(子どもの推測)(地域差)

		(%)		
		どんな場合でもなぐりあいは絶対にいけない	時にはなぐりあいも仕方がない	子どもなのだからすぐケンカするのも仕方がない
① 父親の考え方	A校 男子	34.5	50.3	15.2
	A校 女子	57.0	31.4	11.6
D校 男子	D校 男子	28.3	41.5	30.2
	D校 女子	35.6	42.6	21.8
② 母親の考え方				
A校 男子	A校 男子	51.1	40.1	8.8
	A校 女子	69.1	24.2	6.7
D校 男子	D校 男子	49.0	32.1	18.9
	D校 女子	53.5	35.6	10.9
③ 先生の考え方				
A校 男子	A校 男子	57.2	32.3	10.5
	A校 女子	62.5	30.6	6.9
D校 男子	D校 男子	58.4	23.1	18.5
	D校 女子	58.4	29.7	11.9

注) { A校…都市近郊団地
D校…漁村

図29・生まれてから今までのケンカ体験(地域差)

		何度もある	1、2度ある	一度もない	(%)
	A 校	35.0	50.4	14.6	
	D 校	38.1	46.2	15.7	
相手を泣かせたこと	A 校	25.9	41.1	33.0	
相手をひっぱたいたこと	D 校	45.0	36.0	19.0	
相手をけとばしたこと	A 校	22.1	43.5	34.4	
相手をけとばしたこと	D 校	32.7	49.8	17.5	
ひっかいたり、つねったり、髪をひっぱつたりしたこと	A 校	21.1	39.1	39.8	
ひっかいたり、つねったり、髪をひっぱつたりしたこと	D 校	37.0	40.7	22.3	

注) { A 校…都市近郊団地
D 校…漁村

まとめに代えて

以上子どもたちのケンカ体験とその周辺について、例によって調査的な接近を試みてきたわけだが、子どもたちの成育史の中から、いい意味でも、悪い意味でもケンカ体験が大幅に減ってきてていることが、第一の問題点であると考えられる。

と言うのは、人間と人間との間に深いかかわりがある所には、必ずトラブルがつきものであり、おとなの場合にはそれを社会化されたパターンで表出するか、または上手に抑制して、そのうっぷんを代理的に解消するというやり方がとれる。しかし子どもの場合は、その能力が未発達であるかゆえに、ケンカしながら育ち、やがて成熟した行動のとれるおとなになっていく、というのがこれまでのプロセスだった。しかしこのデータで見てきたように、子どもたちがケンカしなくなってきたのは、決して社会的成熟が進んだのではなく、1つは他人との深いかかわりが減ってきてること。またトラブルがあっても大きなケンカにまで発展するような活力が減ってきてすることを危惧させられるデータは、これまでに見てきたとおりである。

調査データを一通り見終わってわれわれが思うのは、現代の子どもたちが、いかにも現実的で深刻な生活体験、特に人間関係の体験を欠いたまま、成長しているのではないかという感想である。テレビに出てくるような程度のまあまあの、清く美しい人間関係、つまり浅いがゆえに傷つくことも少ない人間関係、といったものに終始しているのではないか、という印象を捨てることができないでいる。

子ども時代はもっとどろどろした現実と、将来への限りない抱負との、2つのはざ間の中で過ごさせていくのが必要ではないのだろうか。そのためには、子どもたちのぶつかりあいの世界であり、唯一彼らの支配できる世界である「遊び」を、もっと彼らの生活の中に復活させていくことが大切なのだと思われる。



子どもの姿・昔と今(10)

通 学 服

奈良教育大学教授 深谷昌志

学生服は日本だけの遺物

大学のキャンパスから学生服と学帽が消えたのは、昭和40年代のはじめのような気がする。今では、ジーンズにTシャツ、冬ならばスエーター姿の学生に慣れてしまい、学生服を着ている学生に会うと、条件反射的に応援団を連想するまでになった。それでも、数年前までは、就職シーズンが近づくと、学生服姿を見かけたが、この頃は、リクルート・カットにスーツの方が主流となった。

かどのとがったのが早稲田、まるい帽子につばだけがまっすぐ伸びているのが慶應、そして、没個性的なのが東大と、かつての学帽には、その大学なりの個性があり、一目見ただけで、どこの学生かがわかった。そして、学生たちも、こうした学生服や学帽を持ち、先輩からゆずられた学帽などは、ちょっと幅を効かせた思いがある。

もう一世代前にさかのほると、旧制高校のマントとほうぼう姿がある。いずれの場合も、大学や旧制高校がエリートを約束していた時代の産物で、学帽は、エリート候補生であることを世間に誇示する道具だったのであろう。そう考えると、キャンバスから学生服が消えたのが、大学進学率が高まり、大学の大衆化が進んだ時期と軌を一にしているのは興味深い。

大学は、もはや、普通の教育機関となった。それなのに、エリート意識の名残りともいいくべき学生服や学帽にしがみついているのは、時代錯誤もはなはだしいというのであろうか。

正直なところ、はじめのうち、ジーンズやTシャツで、ゼミに出てくる学生たちを見て、抵抗を覚えた。あまりに、ラフすぎると思ったのである。しかし、慣れてみれば、費用が安い上に、活動的で、そして、いかにも若々しい。さらに言えば、個性的で、自由な感じを受ける。

こうした形で、大学では、脱学生服、脱学帽の動きが顕著なのに、どうしたことか、中学や高校では、制服・制帽の着用が義務づけられ、むしろ、取り締まりが厳しくなりつつある。また、小学校でも、標準服を制定した学校が少なくない。

服の乱れは、非行化を測るバロメーターだと言う。だから、神経質なまでに、スカートの長さやズボンの幅に目を光らせる学校が少なくない。しかし、こうした学校サイドの事情は理解できるとしても、制服は、なんとも現代風でない。せめて、色彩や形だけでも、ナウい感覚を取り入れるか、あるいは、いくつかの標準服を指定し、その中で選択させるかでもないと、生徒たちの気持ちは晴れない。ひとつの型にはめようとするから、生徒たちは、その裏をかいて、ざさやかな屈折した部分で、個性を発揮しようとする。少なくとも、制服に限って言えば、抵抗をする生徒たちの心情に共感を覚える。

周知のように、欧米では、私立学校を除くと、義務教育や高校レベルで制服を定める慣習はない。アジアでは、韓国が制服、制帽を義務づけた数少ない国の一つで、韓国を訪れた時、制服姿の子どもたちに接すると、画一

的で、ミリタントな印象を受けた。しかし、その韓国でも、ソウルオリンピックの開催が決まり、民主的なイメージを高めるために、制服の廃止に踏み切ったと聞く。そうなると、主要国家の中で、学生服を着用させているのは、日本だけということになる。

もちろん、欧米でも、青少年の非行化に手を焼いている事情は、日本と変わりはない。しかし、どんな服を着るのかは、本人の権利の問題で、非行とは切り離して考えているのであろう。それだけに、制服にこだわる学校の態度は、子どもの個性を認めない教育風土を象徴するようと思われてならない。

事実、学生服を導入したのは、周知のように、森有礼文相下のできごとである。森の教育政策については、さまざまな解釈が可能であり、必ずしも、軍隊教育の原理を学校へ導入した部分が森のすべてとは言えまい。しかし、少なくとも、学生服は、プロイセンの影響を受けて、国家主義の教育の流れの中で導入された政策だった。

第二次世界大戦後、教育の民主化が叫ばれ、古き遺産が一掃されたのに、どうして、学生服だけが残ったのか。学校の民主化が教師の範囲に限られ、子どもたちに民主化の恩恵は及ばなかったというのは過言であろうか。

明治時代の通学服

明治時代の記念写真などを見ると、着物にぞうり、時には、袴をはいた子どもたちの姿が写っている。

今の子どもたちの通学する姿と全く接点がなく、いかにも古い印象を受ける。それでは、明治時代の子どもは、どんな服装をして通学をしていたのか、まず、いくつかの事例を紹介すると、

「地織(自分の家で織ったもの)の縞の着物を着て、下駄ばきで通学しました。下駄の鼻緒ですが、わらを芯にして、布で包んだだけの質素なものでした。たびは手製で、縫った

ままで裏がえしをしないので、縫い目が外に出たものをはきました」(明治26年入学)

「児童の服装はムズリ袖、モモヒキ、ヒモ通し足袋で、下駄は襷緒、スルガ緒(竹の皮で作ったもの)、つぎはぎした着物、道具は小麦粉袋に入れるか風呂敷につつみ、帽子はフラノの幅三尺のものを三角にまいてかぶった」(明治35年入学)

「衣類は筒袖の「ムジリ」とかを着、はきものはわらで作った草履をはき、雪の時はわらで編んだユヅケをはき、雨の時は古ござを頭の分と背の分を縫い、それを雨具にして通学したものです」(明治32年入学、いずれも、『宮城県教育百年史』第1巻 明治編)のとおりである。

明治40年代、石川県立師範学校附属小学校では、「男の子は紺の着物に、小さな小倉の袴をはいていた。女の子は海老茶の袴。先生は黒い詰め襟の洋服だった」(『金沢大学教育学部附属小学校百年史』)というが、これは、富裕な家庭の子どもたちの通う附属小学校なればこそその光景で、庶民の子どもたちにとっては



て、前述の資料のように、袴はおろか、はき物にすらこと欠くのが実情であった。

したがって、経済的に恵まれた家庭の子どもが在籍する旧制中学や高等女学校、そして学費を県費で負担する師範学校で、制服規定が認められるのに対し、小学校では、制服に近い形の規定がなされる場合でも、きわめてゆるやかな形にとどまることが少なくなかった。というより、子どもたちの家庭状況を考えると、就学させるのに手一杯で、服装まで言及しにくかったのであろう。

学校の対応策

明治27年、千葉県下のある小学校では、家庭での連絡文の中で

「兎角男子ハ着物ノ着方帶ノシメ方ナドヲ粗略ニ致シ女子ハ他人ノ着物其外ノモノヲ羨ム癖有之」(『千葉県教育百年史』第3巻)と指摘している。男子の着物はみだれがち、そして、女子は華美にながれがちなので、家庭で留意してほしいという達しである。

しかし、経済的に貧しい時代のことゆえ、学校としても、服装の規定を定めると、父母の出費がかさみ、そのための不就学を増加させそうなので、

「男子ハ筒袖(若クハ洋服)トシ女生ハ成ル

ベク袖ヲ短クスベシ

帯ハ綿テ後ニテ結バシムベシ

男生徒ハ成ルベク袴ヲ着用スベシ

蹴寒中ト雖モ病氣ヲ除ク他ハ成ルベク襟巻袖頭巾等ヲ用ヒシムベカラズ

男生徒ニハ成ルベク着帽セシムベシ

上草履ハ夏秋ノ間ハ成ルベク之ヲ禁シ其他一時季ニ於テモ塵埃ノ生ジ易キモノヲ避クベシ」(明治30年、長野県大島小学校、校規『長野県教育史』第11巻、史料編5)

のように、「成ルベク」の但し書きつきで、男子に袴や着帽を望む規則を定めている。

また、新潟県南蒲原郡の加茂小学では、明治27年に定めた服装細則の中で

「衣服は破れたり、よごれたりしていない物を着ること。古い洋服であっても、しばしば修理したものであっても、いやがっていけない。しかし、破れているものを縫いもしないで、着てはいけない」。

と述べているし、新潟市でも、明治31年、

「平素の服装は華美高価なるべからず

1 男生の服装は筒袖とし制帽を用ふること

2 学校用平常の服装は縮緬類絹布類は用ひざること。但し、木綿金巾類と雖も華美目立ちたるもののは用ひざること

3 女生帶上帶止羽織の紐は高価のものなるべからざること

4 女生前垂は木綿とし衣類より華美なるものを用ふべからず」(『新潟県教育百年史』明治編)

のような服装規定を定めている。

満足な着物もない子どもがいる反面、派手な着物を着てくる女の子もいる。そうした華美な服装が多くなると、肩身の狭い子どもが生まれる。だから、質素な格好の方が望ましい。但し、きちんと着るようにと指導したのであろう。

こうした状況の中では、袴は高価なので、帽子の着用を望む学校が目につく。例えば、滋賀県の高宮小学校では、明治36年から、正



帽を定めているが、これも、急速に定着するというより、着用者が少しずつ増えて、徐々に正帽となる形をたどったらしい。(『高宮小学校百年史』)

また、きちんと着るための指導という意味では、

「私たちは袴がぬげさえしなければいいので、紐などは前で結はうと後ろにしようとお勝手次第だった。(しかし)そんなふしだらな服装では本校の名譽にかかわる」と校長は朝礼で訓説し、一定の方式を示した。小笠原流礼法によるものだそうで、袴は先ず前紐をうしろに廻して兵児帯の下でしっかりと結び次にうしろの腰当てを兵児帯の結び目の上にのせ」(鹿島孝二『大正の下谷っ子』大正元年、東京市立西町小学校入学)

のように、着方の指導を徹底する事例も認められる。

さらに、長野県上伊那郡のある校長は、明治27年、

「日本服は袖裾広く洋服は筒袖股引にて布を費やすこと少く且手足動し安くして働くに便なることは人々の能く知る処なり」(『長野県教育百年史』第11巻)

のような書面を家庭に回し、和服を洋服に変えてはどうかという衣服改良策を具体的に提案している。

大正時代の通学服

明治41年、東京府下の小学校へ入学したある子どもは、

「大部分の者が紺がすりか紺の着物に兵児帯をしめ、板裏ぞうりか駒下駄をはいて、みんなおなじように教科書などを入れた風呂敷包みをもっていた。組中でズックのカバンをもっている者や袴をはいたり帽子をかぶっている者は、ほんのわずかな人数しかいなかつた。教室へは、入口のところにある下駄置場の棚に下駄を入れ、上草履をはいて中にはいるのだが、その上草履をもっているものもご

く僅かだった」(鈴木忠五『幼児追憶記』)と、回顧している。

着物にぞうりばきで通学してくる子どもたちだが、大正時代へ入っても、そうした状況



は、あまり変わらず、わずかに儀式などのあらたまつた折りに、袴をはく子どもが多くなった程度である。例えば、

「枕元に袴と着物が揃えてあった。着物は私の入学のために、母が夜なべをかけて縫ってくれた新銘仙の衿である」(時田佳世『大正渋谷道玄坂』大正10年、東京府下の小学校入学)

「着物に袴をつけて、お手ふきで袴の右に下げて、カバンを肩から斜に背負って、下駄をはいて通った」(岸井良衛『大正の築地っ子』大正3年、入学)

のとおりだが、こうした事情は、東京に限らず大正7年、松本の小学校へ入学した古島敏雄氏は、小学校時代の古い写真について、

「男女ともに和服の着ながしで、絣もあれば縞もある姿である。大部分が羽織を着ており、前列の女の子は色足袋をつけている」(古島敏雄、『子供たちの大正時代』)

のように記述しているし、別の小学校でも、

「はきものはわら草履で、服装は着物、襦袢に単衣、下はきなし。冬は襦袢に袷、袖無し、半てんを用いた。大正15年頃はまだクラスには洋服は2~3人」(『山口県熊毛郡勝間小学校百年史』)

しかし、大正も中ばになると、洋服を着て、小学校へ通う子どもが登場してくる。そうした思い出を、乾孝氏は

「ある日ぼくは、母のいとこのタカちゃんのお古の洋服を着せられることになった。洋服を着ている子は、その当時、めったにいなかつた。……靴をはいて歩いていよいものなら「異人バッバ、猫バッバ」と称えながらゾロゾロ村の子どもたちがついてくるような時代だったのだ。それだけでも恥ずかしい」
(乾孝『ある幼年』、大正7年、東京府下誠之小学校入学)

と回顧している。彼の入学した誠之小学校は、



文化人の子どもなどが多い名門小学校で、彼自身、1キロほど離れたところから越境入学をして、同校へ通っている。こうした学校でもほとんどの子どもは「袴をキチンとはきこなしていた」と言う。

したがって、大正時代でも、

「服装は男女を問わず質素にして清潔にせられたきこと。着物は筒袖のこと。但し尋五以上の男子は袴を穿ち海軍帽を被らしむること、筒袖の着物には左衽の裏にかくし一箇をつけ置かれたきこと。帯は角帯にあらざるも必ず後に結ばしむること」(大正6年、保護者心得、『赤坂小学校百年史』)

のような規定が、むしろ一般的であったよう

に考えられる。

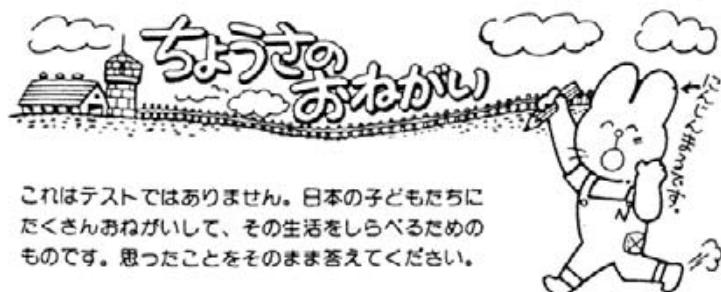
これまで、かけ足の形で、通学服の変遷をあとづけてきた。しかし、大正時代の中ばを過ぎても、和服姿の子どもが見られるだけで、標準服はむろん、洋服もまれな状況がつづいている。つまり、それだけ、経済的に貧しい時代が長くつづいていたのであって、ズボンやスカート姿の子どもたちが登場するのは、たかだか昭和に入ってからにすぎない。

もちろん、昭和といっても、第二次世界大戦下、そして、戦後、物不足の時代を体験しているから、実質的に、子どもたちが着るもの的心配をせずに通学できるようになったのは、ここ30年の現象なのであろう。

しかし、それにしても、小学生はともかく中学生や高校生は、豊かさの恩恵を受けていないように思える。

「自主性を育てる」や「個性を伸ばす」などを校訓に掲げている学校は少なくない。しかし、規格化された服装の許で個性を諦るのは矛盾もはなはだしかろう。制服を定めたところで、生徒たちは、放課後や休日に、私服を着て、町へ出ている。そうだとすれば、思い切って、制服の枠をはずし、「中学生らしさ」を求める形で、通学服を再検討してはどうであろうか。

おとなたちにとって、たかが服の問題なのかもしれない。しかし、多感な年齢の子どもにとって、服装は想像される以上の重みを持つ。こうした子どもたちの心情を理解するとこから、本当の意味の学校改革は出発するようと思われてならない。



これはテストではありません。日本の子どもたちに
たくさんおねがいして、その生活をしらべるための
ものです。思ったことをそのまま答えてください。

やりかたの練習

あなたはカレーライスが好きですか？

とても	かなり	ふつう	すこし	とても
1	2	3	4	5

あなたがもしカレーライスをかなりすきだと思ったら
上のように番号のところを○でかこんでください。

① まず学年などを書いてください。

- ① 学校の名まえ _____ 小学校
 ② 学年……… (1, 2, 3, 4, 5) 年 <じてかこむ>
 ③ 男女……… (1.男 2.女) <じてかこむ>

② あなたは、毎日の生活中でこんな気持ちになることがありますか。

- ① 楽食の時間がきても、なかなか……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 ② すいじがしない日が……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 ③ 友だちとのゲームやスポーツに負けて……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 ④ クラスの子に悪口を言われたり、いじわ……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 ⑤ もうされたりして、すごく頭にくることが……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 ⑥ 親や先生にしかられて、気分がおち……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 ⑦ 自分がクラスのみんなから仲間はずれ……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 ⑧ にされていると思うことが……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

③ あなたは、生まれてから今までに、こんなケンカをしたことがありますか。

- ① とくみあいのケンカ……… 1 ————— 2 ————— 3
 ② ケンカをして相手を泣かせてしまったこと……… 1 ————— 2 ————— 3
 ③ 相手をひっぱたいたこと……… 1 ————— 2 ————— 3
 ④ 相手に石や物をぶつけたこと……… 1 ————— 2 ————— 3
 ⑤ 相手をぼうなどでたないたこと……… 1 ————— 2 ————— 3
 ⑥ 相手をけとばしたこと……… 1 ————— 2 ————— 3
 ⑦ 相手をひっかいしたり、つねったり、髪をひっぱったりしたこと……… 1 ————— 2 ————— 3

● 資料1 調査票見本

- ④ ① あなたは、友だちとの間で誰がたつたり、イヤなことがあったとき、それをいつまでもおぼえているほうですか。

1. たいていその日のうちに忘れてしまう
2. 一晩ねれば忘れてしまう
3. 2~3日すれば忘れてしまう
4. 何日も忘れられない
5. 何ヶ月も忘れられない

- ② 友だちとくらべて、あなたはよくケンカをするほうですか。

1. とてもケンカするほう
2. わりとケンカするほう
3. あまりケンカしないほう
4. ぜんぜんケンカしないほう

- ⑤ あなたは、この一か月間くらいに、友だちとケンカをしたことがありますか。

【一か月間】のことを思い出して、一番近いところに○をつけてください。

- | | | | | |
|---|----------|----------|----------|-----------|
| ① ケンカして、友だちとの間が気まずくなってしまったこと | 1 聞もなかつた | 2 困ぐらい | 3 3回あった | 4 4回以上あった |
| ② 友だちと口ゲンカしながら、次の日にはケロッと仲なおりしてしまったこと | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ③ ケンカになりそうだったが、友だちが中に入って、やめさせてくれたこと | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ④ まっ赤になって、どなったり、さけんだりしたひどい口ゲンカ | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑤ 1発なくつたり、たたいたりしたが、相手が(またはあなたが)なぐりかえさなかつたので、大げんかにならなかつたこと | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑥ とくくみあいや、なぐりあい、けりあいなどの戯しいケンカ | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |

- ⑥ ① あなたが学校や家の外で友だちと大ゲンカをしたとします。その日の夜あなたは、家の中でお父さんやお母さんにそのことを話すと思いますか。

- | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|
| ぜつたい
話さない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| たぶん
話さない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| もしかしたら
話す | 1 | 2 | 3 | 4 |
| たいてい
話す | 1 | 2 | 3 | 4 |

- ② なぐりあいのケンカについて、お母さんは、どんな考えを持っていると思いますか。

1. どんな場合でも、なぐりあいのケンカは、ぜつたいにいけない
2. 相手があまりに悪かったり、ひきょうだつたりしたら、時にはなぐりあいのケンカをしても、しかたがない
3. 子どものだから、すぐなぐりあいのケンカになるのも、しかたがない

- ③ では、お父さんは、どう思っているでしょう。

1. どんな場合でも、なぐりあいのケンカは、ぜつたいにいけない
2. 相手があまりに悪かったり、ひきょうだつたりしたら、時にはなぐりあいのケンカをしても、しかたがない
3. 子どものだから、すぐなぐりあいのケンカになるのも、しかたがない

④ では、担任の先生は、どう思っているでしょう。

1. どんな場合でも、なぐりあいのケンカはぜったいにいけない
2. 相手があまりに悪かったり、ひきょうだつたりしたら、時にはなぐりあいのケンカをしてもしかたがない
3. 子どものだから、すぐなぐりあいのケンカになるのもしかたがない

7 もしも、あなたがクラスの友だちとケンカをすることになったら、あなたが勝てる自信はどのくらいありますか。

① 口ゲンカなら

	たいてい どの子にも 勝てる だろう	かなりの 子には 勝てる だろう	半分ぐらい には 勝てる だろう	4~5人 くらいには 勝てる だろう	たいてい どの子にも 勝てる だろう
ア) 男子が相手のとき.....	1	2	3	4	5

イ) 女子が相手のとき..... 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5

② なぐったり、けつたり、暴力を使うようなケンカなら

	たいてい どの子にも 勝てる だろう	かなりの 子には 勝てる だろう	半分ぐらい には 勝てる だろう	4~5人 くらいには 勝てる だろう	たいてい どの子にも 勝てる だろう
ア) 男子が相手のとき.....	1	2	3	4	5

イ) 女子が相手のとき..... 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5

③ あなたのクラスにすぐケンカをする子がいますか。

1. いない

2. いる → () 人ぐらい→男ですか、女ですか

男子	人
女子	人

 ぐらい

④ あなたのクラスに、いつも友だちからいじめられているような子がいますか。

1. いない

2. いる → () 人ぐらい→男ですか、女ですか

男子	人
女子	人

 ぐらい

8 きょうだいのいる人に聞きます。(ひとりっ子の人は、次の⑨へ)

① あなたは、よくきょうだいゲンカをしますか。

1. しょっちゅうしている
2. 前はしたけれど、最近はあまりしない
3. ほとんどしたことがない

② きょうだいゲンカと友だちとのゲンカをくらべてみてください。

1) どちらが本気でケンカしますか。

1. きょうだいゲンカのはう
2. どちらともいえない
3. 友だちとのゲンカのはう

2) どちらのほうがらんばうにケンカしますか。

1. きょうだいゲンカのはう
2. どちらともいえない
3. 友だちとのゲンカのはう

3) どちらのほうがケンカの後で、サッパリしますか。

1. きょうだいゲンカのはう
2. どちらともいえない
3. 友だちとのゲンカのはう

● 資料1 調査票見本

⑨ ① 今までに、友だちとケンカして、まちがって友だちにちいさなケガをさせてしまったことがありますか。(もちろん、大きなケガでもよい)

1. 1度もない
2. 何回がある → 何回ぐらいですか () 回ぐらい
3. 数えきれないほどある
"

② では、友だちとケンカして、あなたの方がケガをしてしまったことがありますか。

1. 1度もない
2. 何回がある → () 回ぐらい
3. 数えきれないほどある

⑩ あなたは、友だちとケンカして、そのことでしかられたことがありますか。

- ① 友だちとケンカして
- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|------------|
| 1度も
ない | 1. 2度
ある | 3. 4度
ある | たくさん
ある |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
- 1) 先生にしかられたことが.....
2) 相手の親にしかられたことが.....
3) お母さんにしかられたことが.....
4) お父さんにしかられたことが.....
② 相手の友だちの家に、あやまりに.....
行かされたことがありますか

⑪ あなたが、たいていの場合友だちとあまりケンカをしないで、ガマンしているのはどうしてですか。

- | | | | |
|-----------------|----------------|-------------------|--------------|
| とても
そう
思う | 少し
そう
思う | あまり
そう
思わない | ぜんぜん
思わない |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
- ① ケンカをしても、負けそ.udだから.....
② 本気になってしまって、ケガをすると.....
いけないから
③ 先生や親にしかられるから.....
④ ケンカしたら、友だちでなくなるから.....
⑤ ケンカをするのは、野ばんで悪いことだから.....
⑥ ケンカをするのは疲れるし、バカ.....
らしいから
⑦ いつか相手にしかえしされそうで.....
こわいから
⑧ 本気でケンカするほど、腹のたつこと.....
がないから

[12] ① 友だちで、すぐケンカをする子がいると思います。

その子たちは、どうしてそんなにケンカをするのだと思いますか。

(あてはまるものは、いくつでも○をつけてください。)

1. やらしいことがたくさんあるから
2. 努力（自分をおさえる）がたりないから
3. 子どもっぽい性格だから（ようちだから）
4. 家ぞくの中に心配ごとがあるから
5. 親のしつけがきびしいから
6. よくわからない

② あなたのお父さんは、しごとのことで友だちなどと、ケンカすることがあると思いますか。

1. よくケンカしているようだ
2. 時々ケンカしているようだ
3. 1度もケンカしたことがないようだ
4. わからない

③ では、あなたのお母さんは、友だちなどとケンカすることがあるでしょうか。

1. よくケンカしているようだ
2. 時々ケンカしているようだ
3. 1度もケンカしたことがないようだ
4. わからない

④ あなたの家では、家族の間で、かなり大きなケンカをよくするほうですか。

1. わりとよくケンカしている
2. 時々ケンカしている
3. ほとんどケンカはしない
4. 1度もしない

[13] ① あなたのクラスで、乱ぼうな子^{ひき}同志がケンカを始めたら、まわりの友だちはどうするでしょう。

1. おもしろがって集まってきて、見ているだけだろう
2. とくにそばにも行かず、かってにやらせておくだろう
3. すぐ先生に言いに行くだろう
4. 弱い方の味方になって、相手をやっつけようとするだろう

② では、あなたと仲よしの友だちが、クラスの乱ぼうな子とケンカを始めたとしたら、あなたはどうしますか。

1. 知らないふりをしているだろう
2. そばでみているだけで手は出さないだろう
3. すぐ先生に言いにいくだろう
4. 友だちの味方になって、相手をやっつけようとするだろう
5. ケンカをやめさせようと、とめに入るだろう

③ 今までにあなたは、こちらが1人なのに、相手は数人でなぐりあいのケンカをしたことがありますか。

1. ない
2. ある → 同回ぐらい () 回
いつでしたか【】

● 資料1 調査票見本

14 では、さいごに、あなたのことについておききます。

① あなたは、運動はとくいなはうですか…… とても
どくい わりと
どくい ふつう まあ
にがて とても
にがて 5

② 仲のよい友だちは多いはうですか…… とても
多い わりと
多い まあ
ふつう わりと
少ない ほとんど
いない 5

③ 体はじょうぶな(病気をしない)はうですか…… とても
じょうぶ わりと
じょうぶ ふつう わりと
弱いはう とても
弱いはう 5

④ 勉強の成績はクラスで…… 上から
1～2番 上のはう 中くらい 下のはう 下のはう
とても わりと まあ あまり せんせん
そう そう そう そうでない そうでない 5

⑤ がまん強いはうですか…… とても
そう わりと
そう まあ あまり せんせん
あまり そうでない そうでない 5

⑥ 負けずぎらいなはうですか…… とても
そう わりと
そう まあ あまり せんせん
あまり そうでない そうでない 5

⑦ 短気な(カッとした)はうですか…… とても
短気、ドッジボール、サッカー、おに
ぎは好き とても わりと 半分
好き 好き 半分 あまり せんせん
5

⑧ こっこのようなあそびつな遊びやスポ
ーツは好きですか…… いつも
みんなを
ひっぱって いつも わりと どちら
いくはう いくはう どちら あまり いいなりに
あなたは、学校でみんなと遊ぶとき
いつも
みんなをひっぱって いつも わりと いいなりに
いくはう いくはう いいなりに 5

⑨ 先頭に立って、みんなをひっぱって
いくはうですか…… いつも
みんなを
ひっぱって いつも わりと どちら
いくはう いくはう どちら あまり いいなりに
いくはう いくはう いいなりに 5

⑩ あなたは、今までに、どうしようもなく恥がたって
相手をなぐりたいと思ったことがありますか

1) お父さんを…… いつも
ない 1 2 3 4 わりと
よくあり 5

2) お母さんを…… 1 2 3 4

3) 友だちを…… 1 2 3 4

4) 先生を…… 1 2 3 4

15 いままであなたが一番くやしかったり、腹をたてたりした時のことを思い
出してください。

それはどんな時でしたか。だがれ、どんなことをしたのかできるだけくわ
しく書いてください。

—— これで終ります。長い間ありがとうございます ——

● 資料2 学年・性別集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	4 年	5 年	6 年
1 生活の中のストレス	サンプル数	1,618	842	776	541	558
	1. しおりある	3.8	3.3	4.3	3.5	3.9
	2. わりとある	9.9	10.7	9.0	9.1	9.3
	3. 時々ある	43.6	39.6	48.1	39.7	43.7
	4. ほとんどない	31.4	31.9	30.9	33.5	32.0
	5. ぜんぜんない	11.3	14.5	7.7	14.2	11.1
	1. しおりある	12.3	12.5	12.1	14.0	10.8
	2. わりとある	25.8	24.3	27.3	25.1	23.3
	3. 時々ある	39.8	39.5	40.2	36.1	43.3
	4. ほとんどない	17.8	17.8	17.8	20.7	17.4
	5. ぜんぜんない	4.3	5.9	2.6	4.1	5.2
	1. しおりある	15.9	17.2	14.5	20.3	12.9
	2. わりとある	26.0	24.7	27.4	27.2	28.3
	3. 時々ある	31.9	30.2	33.7	29.9	29.4
	4. ほとんどない	21.5	22.2	20.8	18.7	23.5
	5. ぜんぜんない	4.7	5.7	3.6	3.9	5.9
	1. しおりある	5.0	4.9	5.2	7.4	4.0
	2. わりとある	13.8	13.5	14.2	15.0	12.8
	3. 時々ある	34.0	32.1	36.1	34.7	34.2
	4. ほとんどない	35.5	34.0	36.9	34.0	35.9
	5. ぜんぜんない	11.7	15.5	7.6	8.9	13.1
	1. しおりある	3.0	3.3	2.6	4.4	3.4
	2. わりとある	5.5	4.4	6.7	6.9	3.8
	3. 時々ある	24.0	20.6	27.6	22.2	24.5
	4. ほとんどない	40.3	38.9	42.0	39.1	39.9
	5. ぜんぜんない	27.2	32.8	21.1	27.4	28.4
2 生まれてから今までのケンカ経験	1. 1度もない	35.0	18.1	53.4	32.1	35.1
	2. 1~2度ある	41.2	48.3	33.5	41.7	40.3
	3. 何度もある	23.8	33.6	13.1	26.2	24.6
	1. 1度もない	14.9	10.1	20.1	12.8	17.7
	2. 1~2度ある	51.3	47.7	55.2	48.1	50.9
	3. 何度もある	33.8	42.2	24.7	39.1	31.4
	1. 1度もない	26.2	19.3	33.6	24.3	28.3
	2. 1~2度ある	42.0	42.0	41.9	42.0	42.7
	3. 何度もある	31.8	38.7	24.5	33.7	29.0
	1. 1度もない	66.3	57.0	76.4	62.2	73.3
	2. 1~2度ある	28.3	35.0	21.0	31.3	22.8
	3. 何度もある	5.4	8.0	2.6	6.5	3.9
	1. 1度もない	76.2	70.5	82.4	69.9	81.5
	2. 1~2度ある	20.1	24.0	15.9	25.6	16.2
3 友だちとのトラブル	3. 何度もある	3.7	5.5	1.7	4.5	2.3
	1. 1度もない	27.8	16.9	39.6	24.9	29.9
	2. 1~2度ある	45.4	47.5	43.0	46.5	43.5
	3. 何度もある	26.8	35.6	17.4	28.6	26.6
	1. 1度もない	31.2	25.6	37.2	26.2	34.5
	2. 1~2度ある	42.9	44.4	41.4	43.7	41.4
	3. 何度もある	25.9	30.0	21.4	30.1	24.1
4 友だちとのトラブル	1. たいていその日のうちに忘れてしまう	14.0	18.0	9.7	12.1	15.1
	2. 一晩寝れば忘れてしまう	20.3	21.2	19.3	18.9	21.7
	3. 2~3日すれば忘れてしまう	35.9	34.1	37.6	34.7	33.7
	4. 日も忘れられない	17.5	15.6	19.7	20.2	16.0
	5. 何か月も忘れられない	12.3	11.1	13.7	14.1	13.5

● 資料2 学年・性別集計表

	質問項目		全 体	性 別		学 年 別		
				男 子	女 子	4 年	5 年	6 年
④	ト友 ラだ ブち ルと の	② カベ友 すよだ するくち 方ケと かん比	1. とてもケンカする方	5.2	6.7	3.6	8.9	3.4
			2. わりとケンカする方	24.6	25.0	24.1	28.5	24.7
			3. あまりケンカしない方	60.0	57.5	62.7	54.7	58.6
			4. ぜんぜんケンカしない方	10.2	10.8	9.6	7.9	13.3
⑤	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	① くだケ なちん つとか た氣し まて ず友	1. 1度もなかった	55.1	55.2	54.8	46.4	57.5
			2. 1回ぐらいあった	29.8	27.9	31.9	33.7	27.8
			3. 2、3回あった	12.1	12.6	11.6	14.3	12.3
			4. 4回以上あった	3.0	4.3	1.7	5.6	2.4
⑥	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	② 仲が口 な次ゲ おのン り目カ にし はした	1. 1度もなかった	30.2	26.3	34.5	23.7	29.1
			2. 1回ぐらいあった	31.1	31.6	30.5	29.2	30.1
			3. 2、3回あった	20.8	19.9	21.8	24.4	20.6
			4. 4回以上あった	17.9	22.2	13.2	22.7	20.2
⑦	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	③ らだケ れちん たにカ とを め友	1. 1度もなかった	73.1	66.9	79.9	68.9	71.5
			2. 1回ぐらいあった	17.4	19.3	15.3	18.7	17.5
			3. 2、3回あった	6.9	10.1	3.5	9.0	7.7
			4. 4回以上あった	2.6	3.7	1.3	3.4	3.3
⑧	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	④ ゲひ ンど かい ロ	1. 1度もなかった	71.2	62.9	80.2	61.5	72.0
			2. 1回ぐらいあった	16.3	20.0	12.3	21.5	14.2
			3. 2、3回あった	7.8	10.1	5.3	9.8	9.4
			4. 4回以上あった	4.7	7.0	2.2	7.2	4.4
⑨	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	⑤ たつ たた 発 いり な た ぐ	1. 1度もなかった	71.5	63.4	80.3	66.6	68.1
			2. 1回ぐらいあった	16.9	20.7	12.7	19.0	18.1
			3. 2、3回あった	6.6	8.6	4.4	8.6	7.8
			4. 4回以上あった	5.0	7.3	2.6	5.8	6.0
⑩	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	⑥ けい ど シの っ カ激 く しみ いあ	1. 1度もなかった	79.9	69.0	91.8	73.0	78.9
			2. 1回ぐらいあった	10.4	15.5	5.0	12.7	11.5
			3. 2、3回あった	6.3	9.9	2.3	9.1	6.0
			4. 4回以上あった	3.4	5.6	0.9	5.2	3.6
⑪	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	⑦ けん かに ついて の 親 の 考 え	1. 絶対話さない	16.0	18.1	13.7	16.2	14.9
			2. たぶん話さない	29.3	30.7	27.8	27.2	29.3
			3. もしかしたら話す	30.2	27.0	33.8	28.7	32.1
			4. たいてい話す	24.5	24.2	24.7	27.9	23.7
⑫	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	⑧ えん おの 母 考 え	1. どんな場合でも絶対にいけない	57.0	49.2	65.2	56.6	57.0
			2. 時には、しかたがない	34.1	40.6	27.2	33.7	32.4
			3. すぐなくなりあいになるのもしかたがない	8.9	10.2	7.6	9.7	10.6
			4. 4回以上あった	3.4	5.6	0.9	5.2	3.6
⑬	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	⑨ えん おの 父 考 え	1. どんな場合でも絶対にいけない	40.2	32.0	49.0	42.6	40.5
			2. 時には、しかたがない	42.8	48.8	36.4	42.7	41.2
			3. すぐなくなりあいになるのもしかたがない	17.0	19.2	14.6	14.7	18.3
			4. 4回以上あった	10.1	11.6	8.5	9.5	10.4
⑭	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	⑩ 考 先 え 生 の 考 え	1. たいていどの子にも勝てるだろう	5.7	7.9	3.3	7.9	4.6
			2. かなりの子に勝てるだろう	10.9	14.9	6.5	12.0	12.2
			3. 半分ぐらいには勝てるだろう	25.4	32.5	17.7	25.2	23.9
			4. 4~5人ぐらいには勝てるだろう	34.3	32.5	36.2	34.9	32.2
⑮	この 月 間 の ケ ン カ 体 験	⑪ ケ ン カ に 勝 てる 自 信	5. たいていどの子にも負けるだろう	23.7	12.2	36.3	20.0	27.1
			1. たいていどの子にも勝てるだろう	17.9	27.8	7.6	22.7	17.8
			2. かなりの子に勝てるだろう	16.0	22.3	9.4	16.3	18.1
			3. 半分ぐらいには勝てるだろう	23.6	22.2	25.1	24.6	24.4
		⑫ ケ ン カ に 勝 てる 自 信	4. 4~5人ぐらいには勝てるだろう	29.5	16.8	42.8	26.6	28.0
			5. たいていどの子にも負けるだろう	13.0	10.9	15.1	9.8	11.7

● 資料2 学年・性別集計表

	質問項目		全 体	性 別		学 年 別		
				男 子	女 子	4 年	5 年	6 年
⑦	ケンカに勝てる自信	ア、男子が相手	1. たいていどの子にも勝てるだろう	6.5	11.2	1.3	8.9	5.1
			2. かなりの子に勝てるだろう	9.9	16.4	2.8	11.9	10.6
			3. 半分ぐらいには勝てるだろう	17.9	28.4	6.4	17.5	19.4
			4. 4~5人ぐらいには勝てるだろう	26.9	29.6	23.9	25.5	24.2
			5. たいていどの子にも負けるだろう	38.8	14.4	65.6	36.2	40.7
	イ、女子が相手		1. たいていどの子にも勝てるだろう	26.3	45.7	6.2	27.3	27.2
			2. かなりの子に勝てるだろう	15.3	21.7	8.5	14.2	16.6
			3. 半分ぐらいには勝てるだろう	16.6	16.0	17.3	18.7	14.9
			4. 4~5人ぐらいには勝てるだろう	24.2	10.4	38.5	23.1	23.6
			5. たいていどの子にも負けるだろう	17.6	6.2	29.5	16.7	17.7
	すげ③ する 子かぐ		1. いない	40.4	42.2	38.4	28.2	47.5
			2. いる	59.6	57.8	61.6	71.8	52.5
	いふい きじつ 手でめも		1. いない	46.9	48.8	44.8	46.0	54.4
			2. いる	53.1	51.2	55.2	54.0	45.6
⑧	きょう うだい ゲンカと の比較	すだよ るい かがよ うかう	1. しょっちゅうしている	66.9	67.4	66.4	73.1	64.0
			2. 前はしたけど最近あまりしない	26.0	24.6	27.5	18.7	28.3
			3. ほとんどしたことがない	7.1	8.0	6.1	8.2	5.3
	(1) がど 友本 だち かう		1. きょうだいゲンカの方	45.7	36.0	56.2	55.0	41.1
			2. どちらともいえない	33.0	33.3	32.8	26.4	37.7
			3. 友だちとのケンカの方	21.3	30.7	11.0	18.6	21.2
	(2) がど 乱ち 暴ら		1. きょうだいゲンカの方	55.2	42.8	68.6	60.1	51.7
			2. どちらともいえない	26.3	27.2	25.4	22.4	28.6
			3. 友だちとのケンカの方	18.5	30.0	6.0	17.5	19.7
	(3) さび ばら りが		1. きょうだいゲンカの方	35.9	32.5	39.6	42.3	31.5
			2. どちらともいえない	36.1	34.7	37.7	31.9	39.1
			3. 友だちとのケンカの方	28.0	32.8	22.7	25.8	29.4
⑨	ケンカとケガ	① せが たがだ こをき に	1. 1度もない	58.7	43.8	74.7	51.0	61.6
			2. 何回かかる	39.2	52.4	24.9	45.1	37.1
			3. 数えきれないほどある	2.1	3.8	0.4	3.9	1.3
		② 二ガ とを分 しが たケ	1. 1度もない	53.8	42.2	66.1	46.9	55.6
			2. 何回かかる	43.8	54.1	32.8	50.2	41.4
			3. 数えきれないほどある	2.4	3.7	1.1	2.9	3.0
⑩	ケンカして叱られたこと	(1) 先生に	1. 1度もない	50.8	34.1	68.9	42.9	56.3
			2. 1、2度ある	33.0	38.6	27.0	37.9	26.4
			3. 3、4度ある	9.1	15.2	2.4	9.8	10.1
			4. たくさんある	7.1	12.1	1.7	9.4	7.2
		(2) 相手の親に	1. 1度もない	86.5	78.7	95.0	84.2	87.8
			2. 1、2度ある	10.5	16.4	4.1	12.0	8.7
			3. 3、4度ある	1.7	2.8	0.5	1.5	2.6
			4. たくさんある	1.3	2.1	0.4	2.3	0.9
		(3) お母さん	1. 1度もない	49.8	44.1	56.0	39.3	53.6
			2. 1、2度ある	34.4	33.9	35.0	37.2	33.1
			3. 3、4度ある	7.8	10.8	4.4	9.9	7.5
			4. たくさんある	8.0	11.2	4.6	13.6	5.8
		(4) お父さん	1. 1度もない	66.9	61.2	72.8	58.3	68.0
			2. 1、2度ある	21.6	22.9	20.2	24.4	21.6
			3. 3、4度ある	5.7	6.9	4.5	7.7	6.2
			4. たくさんある	5.8	9.0	2.5	9.6	4.2
		(5) さや相 れま手 たりの こに家 と行に かあ	1. 1度もない	88.0	82.2	94.4	84.8	88.2
			2. 1、2度ある	9.9	14.2	5.2	12.4	9.9
			3. 3、4度ある	1.3	2.1	0.4	1.7	1.5
			4. たくさんある	0.8	1.5	0.0	1.1	0.4

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別		
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年
ケンカをしないでがまんしている理由	① だもケが負ンらけかそして	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. ぜんぜん思わない	9.9 31.4 38.0 20.7	11.2 28.8 38.1 21.9	8.5 34.1 37.9 19.5	11.5 31.6 35.3 21.6	9.1 32.7 37.5 20.7
	② けケ本なガ氣いすにかるなついて	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. ぜんぜん思わない	21.1 41.4 23.9 13.6	18.2 40.0 26.4 15.4	24.2 43.1 21.1 11.6	23.2 41.8 22.5 12.5	22.4 42.0 24.2 11.4
	③ るに先か生らやれ親	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. ぜんぜん思わない	11.2 30.7 31.7 26.4	11.6 30.6 31.1 26.7	10.7 30.9 32.4 26.0	13.1 31.3 31.0 24.6	10.0 33.0 29.4 27.6
	④ かな友らくだなちるで	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. ぜんぜん思わない	21.7 31.4 25.5 21.4	16.5 31.7 26.3 25.5	27.2 31.2 24.6 17.0	22.6 32.4 22.6 22.4	19.4 32.8 25.0 22.8
	⑤ かい野らこ室とでだ悪	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. ぜんぜん思わない	12.8 30.0 33.6 23.6	11.3 28.5 32.1 28.1	14.4 31.6 35.3 18.7	16.6 30.7 29.9 22.8	10.8 31.6 33.4 24.2
	⑥ いバ瘦かかれららるし	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. ぜんぜん思わない	9.2 23.1 36.9 30.8	10.4 22.4 34.7 32.5	7.8 23.8 39.4 29.0	10.4 22.2 34.9 32.5	8.2 25.4 36.1 30.3
	⑦ われしいそかかうえらでし	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. ぜんぜん思わない	8.9 21.2 38.2 31.7	7.7 18.7 37.0 36.6	10.2 23.9 39.6 26.3	9.4 22.5 37.0 31.1	9.3 18.6 37.9 34.2
	⑧ とど本が氣なのにないたなかつるらこほ	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. ぜんぜん思わない	20.9 34.7 27.6 16.8	18.0 34.5 27.2 20.3	24.1 34.9 28.0 13.0	18.2 33.6 29.8 18.4	22.0 33.3 26.0 18.7
周囲の人々とケンカ	① るすぐどケもんの力に由な	1. くやしいことがたくさんあるから 2. 努力(自分をおさえる)が足りないから 3. 子どもっぽい性格だから 4. 家族の中に心配ごとがあるから 5. 親のしつけが厳しいから 6. よくわからない	36.8 33.2 15.4 4.5 4.0 43.7	32.7 29.1 17.7 3.5 4.1 48.8	41.3 37.7 12.9 5.6 3.9 38.2	45.0 27.6 12.6 2.6 4.3 41.7	33.5 33.5 14.8 4.3 4.2 47.4
	② がんおあかるすさんかるるこはとケ	1. よくケンカしているようだ 2. 時々ケンカしているようだ 3. 一度もケンカしたことがないようだ 4. わからない	1.3 5.6 56.4 36.7	2.0 6.9 56.2 34.9	0.5 4.0 56.9 38.6	2.6 5.2 60.1 32.1	0.9 4.1 61.4 33.6
	③ がんおあかるすさんかるるこはとケ	1. よくケンカしているようだ 2. 時々ケンカしているようだ 3. 一度もケンカしたことがないようだ 4. わからない	0.4 5.5 63.7 30.4	0.7 5.8 61.9 31.6	0.1 5.1 65.7 29.1	0.9 3.9 67.2 28.0	0.0 6.1 47.5 27.6
	④ す大家のケ族かんの力間をて	1. わりとよくケンカしている 2. 時々ケンカしている 3. ほとんどケンカはしない 4. 一度もしない	6.5 19.2 46.2 28.1	7.6 21.1 45.1 26.2	5.2 17.2 47.5 30.1	9.8 23.0 43.5 23.7	5.2 16.6 43.2 35.0

※「あてはまる」と答えた割合のみ

● 資料2 学年・性別集計表

	質問項目		全 体	性 別		学 年 別		
				男 子	女 子	4 年	5 年	6 年
13	ケンカに対する反応	① を土乱始が暴めケなたシ子らカ同	1. おもしろがって見ているだけだろう	28.6	33.3	23.6	19.2	28.9
			2. かってにやらせておくだろう	14.7	16.3	12.8	12.4	12.1
			3. すぐ先生に言いに行くだろう	51.1	43.4	59.5	62.0	52.4
			4. 弱い方の味方になってやっつけようとする	5.6	7.0	4.1	6.4	6.6
		② 始が仲めケよたんしらカの子	1. 知らないふりをしているだろう	2.9	4.0	1.7	3.4	2.6
			2. そばで見ているだけで手は出さない	13.4	16.9	9.5	9.6	14.1
			3. すぐに先生に言いに行く	22.1	16.7	27.9	25.5	22.1
			4. 友だちの味方になってやっつけようとする	15.9	16.3	15.4	18.0	15.0
			5. ケンカをやめさせようと、とめに入る	45.7	46.1	45.5	43.5	46.2
		③ ケジ大人カの対	1. ない	82.3	72.2	92.9	79.0	83.0
			2. ある	17.7	27.8	7.1	21.0	17.0
	自己評価	① 方得運が意動なは	1. とても得意	19.2	23.6	14.4	26.3	18.5
			2. わりと得意	23.5	25.6	21.2	20.8	25.7
			3. ふつう	34.4	31.6	37.7	33.6	35.1
			4. まあ苦手	15.8	12.7	19.1	13.0	14.4
			5. とても苦手	7.1	6.5	7.6	6.3	6.3
		② 多友仲いだの方ちよかはい	1. とても多い	16.7	20.1	13.0	20.3	15.3
			2. わりと多い	35.2	35.9	34.5	33.4	34.5
			3. まあふつう	35.3	31.3	39.7	32.2	36.0
			4. わりと少ない	10.7	10.4	11.0	11.9	11.7
			5. ほとんどない	2.1	2.3	1.8	2.2	2.5
		③ なよ体方うはかぶじ	1. とてもじょうぶ	24.9	26.1	23.6	26.1	25.3
			2. わりとじょうぶ	35.9	33.2	38.7	38.7	34.1
			3. ふつう	26.4	28.7	23.8	23.3	27.8
			4. わりと弱い方	11.4	10.3	12.7	10.4	11.4
			5. とても弱い方	1.4	1.7	1.2	1.5	1.4
		④ ス績勉では強クのラ成	1. 上から1~2番	1.7	22.3	1.0	1.3	1.4
			2. まあ上の方	14.2	15.8	12.4	15.6	13.4
			3. 中ぐらい	49.2	44.8	54.1	45.9	50.4
			4. やや下の方	26.8	27.5	26.0	29.1	26.5
			5. ずっと下の方	8.1	9.6	6.5	8.1	8.0
		⑤ か強がいま方ん	1. とてもそう	6.4	6.3	6.6	7.9	5.4
			2. わりとそう	23.8	22.0	25.7	26.4	23.0
			3. まあそう	38.8	39.0	38.5	36.7	39.5
			4. あまりそうでない	27.6	28.4	26.7	25.6	27.4
			5. ぜんぜんそうでない	3.4	4.3	2.5	3.4	4.7
		⑥ 方嫌負かいけなず	1. とてもそう	24.6	26.1	23.1	29.9	22.1
			2. わりとそう	27.4	25.9	28.9	25.2	28.8
			3. まあそう	26.4	25.2	27.7	25.0	26.4
			4. あまりそうでない	18.4	19.1	17.6	15.9	19.6
			5. ぜんぜんそうでない	3.2	3.7	2.7	4.3	3.1
		⑦ 方短か気な	1. とてもそう	14.7	19.1	9.8	19.0	14.1
			2. わりとそう	21.7	20.8	22.7	18.8	21.7
			3. まあそう	23.6	22.6	24.7	22.9	23.8
			4. あまりそうでない	33.6	29.8	37.7	32.2	33.9
			5. ぜんぜんそうでない	6.4	7.7	5.1	7.1	6.5
		⑧ はや活好ス発きボなかう遊び	1. とても好き	47.2	59.4	34.0	54.4	46.1
			2. わりと好き	21.4	17.5	25.6	16.1	23.5
			3. 半分半分	22.5	17.5	27.9	21.7	20.5
			4. わりと嫌い	6.7	3.9	9.7	5.2	8.1
			5. とても嫌い	2.2	1.7	2.8	2.6	2.3

● 資料2 学年・性別集計表

	質問項目		全 体	性 別		学 年 別		
				男 子	女 子	4 年	5 年	6 年
14	(9) つ立 てつぶ いて時 くひ先 方つ頭 かばに	1. いつもみんなをひっぱっていく方	3.4	4.3	2.5	3.9	3.2	3.1
		2. わりとひっぱっていく方	14.3	12.4	16.3	15.6	14.4	12.6
		3. どちらともいえない	51.8	53.9	49.5	49.8	50.6	55.3
		4. わりとついていく方	24.6	22.2	27.2	23.6	26.0	24.1
		5. いつも言いなりになってついていく	5.9	7.2	4.5	7.1	5.8	4.9
	(10) 腹が たつて 相手を なぐり たいと思 つたこと	(1)お父さん 1. 1度もない	75.0	72.6	77.8	74.3	79.1	71.7
		2. 1、2度ある	18.3	18.9	17.6	18.3	16.0	20.7
		3. 3、4度ある	3.9	5.5	2.1	5.0	2.4	4.3
		4. わりとよくある	2.8	3.0	2.5	2.4	2.5	3.3
	(2)お母さん (3)友だち (4)先生	1. 1度もない	71.2	70.6	71.8	73.4	73.4	66.6
		2. 1、2度ある	19.9	19.1	20.7	17.4	19.0	23.3
		3. 3、4度ある	5.1	5.6	4.6	5.8	3.6	6.0
		4. わりとよくある	3.8	4.7	2.9	3.4	4.0	4.1